

すいかの匂い



[すいかの匂い 下载链接1](#)

著者:江国香織

出版者:新潮文庫

出版时间:

装帧:

isbn:9784101339160

夏は、いつだって記憶を刺激する。夏には、思い出がたくさんある。視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚、五感のすべてが夏の思い出を甦らせる。夏の思い出は、楽しくてうれしくて切なくて淋しくて、すこし残酷だ。とくに、子供のころの思い出は。

子供の目から見る世界は、なんだかすごく不安定で、ふわふわしていて、不確かだ。ちょうど、目のまえに水の膜があるかのように、ふにゃふにゃと、歪んで見えた。あのころ、なんでもないことが、とても特別で大切だった。大人になると、忘れてしまうような感覚。きらきらした、不思議なものに惹かれていた。子供の目から見たら、なんだって不思議なのだ。日常のなんでもないことも、いつのまにか、不思議な出来事になっている。

そして、とりわけ、少女というものは、そのころのだれよりも感受性が豊かで、繊細な生き物なのだろう。そして、だれよりも危うく、鮮明に誘惑に心細く、儂い甘さに満ちている。思わず、抱きしめたくなるような、そんな甘さだ。だけど、少女はとても残酷で、恐ろしい。この本には、そういう少女の見た不思議な出来事がつまっている。なんだか、それは、不思議だけれど、とてもリアルだ。

思い返せば、もしかしたら、わたしだってこんな経験をしているのかもしれない。よ

く似た思い出。たとえ、なかったとしても、なんだか、あったような、そんな錯覚を覚える。それらの思い出は、思い出したくもないものかもしれないし、忘れることを約束したものかもしれない。もう二度と、思い出さないように、封印した記憶。秘密にしてしまった記憶。純粋な残酷さをつれて甦る、その記憶に、すこし、ぞくっとするのだ。江國さんの淡々とした文章が、そのぞくっとする感覚を、さらに刺激する。

じっとりと汗ばむ、眩しいくらいのリアルのなかに、夏の匂いがした。

作者介绍:

江国香织，日本著名作家，1964年生于东京。1989年《409拉德克里夫》获得法国费米娜奖，成为日本得此奖第一人。1992年获紫式部文学奖，1999年获路旁之石文学奖，2002年获山本周五郎奖，2004年获直木奖，2012年获川端康成文学奖。主要作品有《沉落的黄昏》《那一年，我们爱得闪闪发亮》《好想痛痛快快哭一场》《寂寞东京塔》等。

目录:

[すいかの匂い 下载链接1](#)

标签

江国香織

短文

江国香織

日文原版

日本文学

故事

江國香織

日本

评论

尼玛はるこちゃん这是有多可爱啊啊。被15、6岁的小哥搭讪然后脱内裤啊啊啊。尼玛主动想被人贩子拐卖这是活得有多无聊才会有想法啊啊啊。。

1. 几个故事很美 2. 几个故事淡淡的，用后记的话说，是在讲那些让我们有感触却又觉得讲出来怕被嫌弃琐碎的感受。 3. 要努力提高日语。 4.是echo送的书。多谢echo

还挺喜欢这本书的…有的短篇很令人惊喜

[すいかの匂い 下载链接1](#)

书评

商场里的空调打得特别低，胳膊上的汗水瞬间要凝在浮起的鸡皮疙瘩上，隔着甜品店漂亮的玻璃柜台往里看，每一样都精致而冷淡。现代人的舌头和胃袋，该用什么填满，我常常觉得江国香织的笔触在将尽未尽前停住，她就是不给你一个准确的结局，像懂得节制的美食家和不爱得太满的情...

文/吴情

在日本当代小说家中，江国香织算是卓然不群的一位。出生于一九六四年的她，二十五岁便以《409拉德克里夫》摘得法国费米娜文学奖，此后更是笔耕不辍，先后获得紫式部文学奖、路旁之石文学奖、直木奖、川端康成文学奖。在同代作家先后在西方文学理念模式进行各式...

《西瓜的香气》是日本著名作家江国香织的小说集，本书收录同名短篇小说集《西瓜的香气》，中篇小说《每一天都是芳香的日子》、《棉花糖》，以及长篇小说《夏日的光芒》。中篇小说《每一天都是芳香的日子》讲述了在美国出生的十一岁日本小男孩DAI的日常生活，与十八岁才到美国...

如果說我最近的生活過的十足甜膩的話 這本書就是絕對的清爽了
好想寫一個關於充不飽氣的充氣娃娃的故事 因為他永遠忙著滿足別人但是永遠寂寞
不滿足。所以他只會被當成充氣娃娃 沒辦法當愛人 也沒辦法接受愛。
只是一直怨嘆自己只能當充氣娃娃 而沒有認清事實上是自己造...

这本书还是在重庆的南之山书店买的，网红书店，打卡印章，一样不落
读的第一本江国香织的作品，比起其他男性作家，香织的作品确实透露出女性的顽
皮和细致
整本书是几个小短篇的集合，我是利用每晚加班回来的时间翻几页，因此读书战线拉的
很长。前期的无忧无虑，中部校...

第一个故事，芳香的日子，说是发生在美国，可是里面美国人以及很多情节都过于日式
。觉得非常非常别扭，就好像一个下乡的背景人物名字却都是露西玛丽……真的太矫情
了。比如露姬带男主回家，告诉妈妈把茶送到房间去吧。顿时眼前出现了蜡笔小新的妈
妈。再比威尔的狗叫丽丽玛丽莲...

妈的，这个豆瓣骗我，根本不能看书。MDZZ.....
.....

早就听说过鼎鼎大名的江国香织，知道她是当今日本文坛上与村上春树齐名的畅销书作
家。然而没想到读她的第一部作品却是短篇小说集。
在《西瓜的香气》这部作品中，主人公大多是十一二岁的儿童，都体现着自我成长这一
主题。例如对于主人公初恋过程的描写与刻画，读者很容易通过自...

江香国织的小说比较独特，这是以前读江香国织的印象。这一本也是。
西瓜的香气这本集子收录了江香国织的一些短篇和长篇小说。都有一个特点，那就是从
十岁到十二岁的少年眼中去看这个世界。江香的小说视角是很重要的，特色非常鲜明，
从一个孩子的眼中看到世界的方方面面，构成...

[すいかの匂い 下载链接1](#)